

2021年8月号 セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆さまへ

変異株の影響で、新型コロナウイルスの感染は世界的にも再拡大に向かっています。それでも米欧ではワクチン接種が進み日常生活が急速に取り戻されていて、消費のV字回復期待と金融緩和政策の維持が株高基調を支え、引き続き米欧株式市場は高値圏で推移しています。他方米国で景気の急回復がインフレ懸念を高めており、欧州でも物価上昇が顕在化する中、株価にとっては強弱材料が交錯して値動きが大きくなって、マーケットには割高感も漂い始めているようです。

しかし、長期投資家はコロナ後の新常态がグローバルな成長軌道を新たに強く描き出す可能性を楽観的にとらえていくべきでしょう。コロナ禍で一気にIT革命による新技術が一般生活に浸透し、気候変動など自然環境変化に対する危機感が世界的に共有されて、脱炭素を前提としてクリーンエネルギー革命が進展し始めました。こうした課題解決に向けた産業界の競争原理こそが、持続的経済成長を促す源泉なのです。この先長期投資が成果を発揮する条件が一層備わって来たわけです。

コロナ禍で景気回復が先行する米欧に対して日本は後れをとり、新興国・途上国地域では今まさに感染再拡大期にあるなど、経済状況は多極化しています。「セゾン号」の国際分散投資が大いに機能するであろう外部環境下にあるわけで、引き続き新型コロナウイルスの感染動向には注意を払いつつ、ゆったりと長期投資の旅を続けてまいりましょう。

代表取締役会長CEO 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託に係るリスクや費用等は、それぞれの投資信託により異なります。投資元本の保証はありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

委託会社:セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口:03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

セゾン資産形成の達人ファンド

7月の市場動向

株式

金融緩和が長期化するとの見方は維持されたものの、先行きに対する楽観的な見方が後退して力強さを欠く展開

金融緩和の長期化観測は維持されたものの、中国政府が民間企業への規制を強化する方針を示し、中国企業の先行きに不透明感が広がったほか、幅広い地域で新型コロナウイルス変異株の感染が拡大したことを受けて景気の先行きに対する楽観的な見方が後退して力強さを欠く動きとなりました。

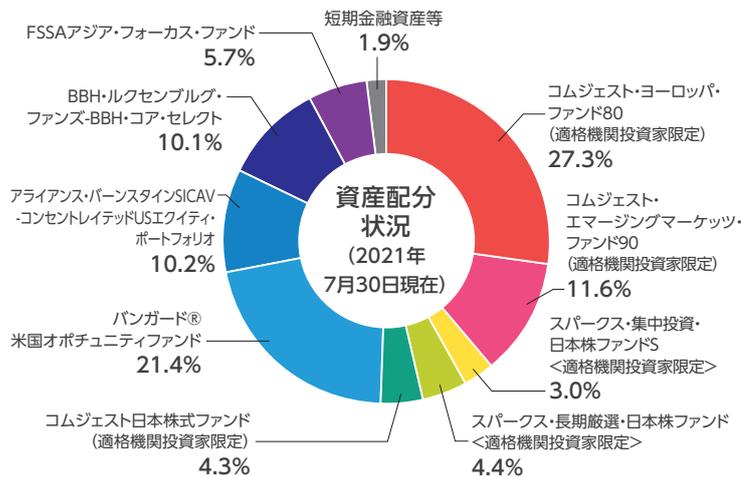
為替

金融緩和の長期化観測が広がるなかでドルとユーロは方向感のない展開。円は上昇し、対ドル、対ユーロで円高

先行きへの不透明感が広がったことを受けて新興国通貨や資源国通貨が下落して主要通貨が上昇しました。ドルとユーロは、どちらも金融緩和が長期間継続するとの見方が維持されるなかで方向感のない展開となりました。円はドルやユーロとの金利差が縮小したことを背景に上昇しました。

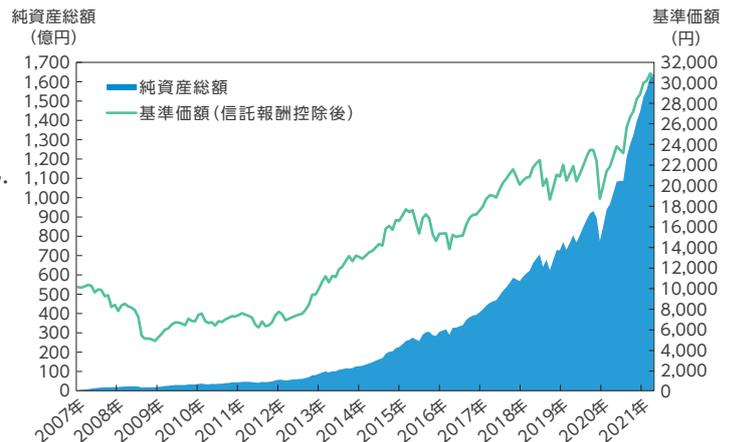
基準価額と純資産総額及び騰落率(2021年7月30日現在)

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
30,624円	1,641.8億円	206.24%	-0.93%	12.44%	33.89%



*資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次)



7月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、積立などでのご購入により皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、FSSAアジア・フォーカス・ファンド、コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド、コムジエスト日本株式ファンド、スパークス・集中投資・日本株ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、BBH・コア・セレクト・ファンズへの投資を行いました。なお、現金比率は前月末と変わらず、月末時点で約1.9%です。

ファンドマネジャーからの一言

長い期間で見ると、株式市場では、注目を集める地域、国、業種、企業が移り変わっています。投資の収益は基本的に、安く買って高く売ることにより得られるものなので、通常は値上がりを期待して人気がある分野で投資を行うことが好まれますが、長期的な成果を求めるとなれば、価値があるものを割安に購入するために、人気がない分野でも投資を行うことが重要であると認識しています。

一方で、価値に対して割安であっても、人気がない分野への投資は短期の成果が見劣りすることが多いため、継続を難しくする心理的な圧力を感じるがありますが、幅広く分散投資を行ったうえで、資産の一部ではなく全体を見て、将来へ備えた投資を継続することが重要であると考えています。

当ファンドでは引き続き、幅広い地域への分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの長期的な投資を通じた資産形成のお役に立てるように努めてまいります。

運用部長 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆さまの長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。〔「価格変動リスク」〕また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。〔「為替変動リスク」〕その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

◆其他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当ファンドに係る費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料:ありません。
- 信託財産留保額:換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用:ファンドの日々の純資産総額に年0.583%(税抜0.53%)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%程度(税込)となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。

○その他費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)